



院長
篠崎 伸明先生

1980年千葉大学医学部卒業。1985年茅ヶ崎徳洲会総合病院外科にチーフレジデントとして入る。以来、湘南鎌倉総合病院外科部長、松原徳洲会病院副院長、同院長、湘南厚木病院院長などを歴任。2014年より湘南藤沢徳洲会病院院長に就任。日本外科学会外科専門医、日本透析医学会透析専門医。

院長メッセージ

「徳洲会があるから安心」
そう言っていただけの病院に

前身となる茅ヶ崎徳洲会総合病院の時代から数えて、約40年にわたって湘南東部エリアの地域医療に貢献している湘南藤沢徳洲会病院。現在もより良い医療をめざし、高度な先進医療を取り入れるほか、グローバル化などにも取り組んでいる。



1 > 手術支援ロボットを取り入れ、手術時間の短縮や精度向上に成果を上げている 2 > 毎年15人ほどの初期研修医を受け入れている



24時間365日の救急体制
「断らない医療」で地域を支援

TOPICS

絶大な信頼を受ける救急医療

24時間365日「断らない医療」
ドクターヘリや災害時の医師派遣も

創業以来一貫して「断らない医療」に取り組んできた「徳洲会グループ」。同院でも24時間365日、1件の救急搬送たりとも断らない救急医療を展開。ドクターヘリも受け入れ、湘南地域はもちろん、他地域の救急隊からも厚い信頼を受ける。また、大規模災害時には国内外を問わず支援活動を行う「徳洲会医療救援隊 (TMAT)」にもスタッフを派遣している。



市内の救急隊からも信頼を寄せられる同院

茅

ヶ徳洲会総合病院を前身とし、「湘南C-X（シークロス）」の開発とともに現在の地に新築移転した湘南藤沢徳洲会病院。移転前の地に平成27年に開院した茅ヶ崎徳洲会病院と連携しながら、

地域への貢献を目指している。

「当院は急性期総合医療機関として、急性期医療を軸に幅広い医療を、茅ヶ崎徳洲会病院では救急医療も行いつつ主に在宅医療を中心とした高齢者医療を展開することで、役割を分担できています」と篠崎伸明院長。

同院はさらなる信頼獲得はもちろん、患者により満足してもらうため、医療の質向上に余念がない。細部にわたって体制を整え、客観的な指標となる日本医療機能評価機構

医療法人徳洲会

湘南藤沢徳洲会病院

すべては患者のために……
安心で質の高い医療を推進

辻堂駅北口の再開発エリア「湘南C-X（シークロス）」に、平成24年に開院した「湘南藤沢徳洲会病院」。基本理念「生命（いのち）だけは平等だ！」に基づき、「断らない医療」を実践する徳洲会グループの一翼である。同院の前身は昭和55年開院の茅ヶ崎徳洲会総合病院。現地に新築移転後は延べ床面積が約3倍、病床数は419床となり、急性期医療を中心に先進医療にもますます積極的に取り組みながら、地域の医療ニーズに応えている。湘南東部エリアの中核的な医療施設として機能する同院だが、中でも24時間365日体制で患者を受け入れる救急外来は、今や地域になくはない存在だ。

外国人を含む患者の安全確保や、医療の質向上のための取り組みをスタッフ一丸となって継続しており、日本医療機能評価機構などの認定を取得したほか、県の災害協力病院や外国人患者受け入れ拠点病院としても機能している。患者満足度向上を常に考え、豊富な市民公開講座など、マーケティングに基づく医療サービスも実施。地域から絶大な人気を得ている病院だ。

による認定も取得している。

「病院としての大きな指針に加えて、利用者の声をくみ上げる仕組みや外国人への対応など、数年かけて病院を挙げて取り組んできた成果です」

また再生医療など、先進医療の導入にも注力。手術支援ロボットを用いた手術や、経頭蓋MRガイド下収束超音波治療なども積極的に取り入れている。

「大きな可能性を秘めた新しい医療に取り組むことは職員の仕事であり、何より患者さんに利益を提供できることにつながります。当たり前の治療を安全に行うことはもちろん、こうした先進医療でも皆さんのお役に立てればと願っています」

国際医療

医療の質向上をめざす湘南藤沢徳洲会病院では、「国際医療支援室」を設けて医療サービスのグローバル化にも尽力。増加の一途をたどる訪日外国人、メディカルツーリストのニーズにも応える、その活動をクローズアップしてみよう。

メディカルツーリズム

高まるメディカルツーリズム需要に応え 海外から訪れる患者をサポート

患者が医療サービスを求めて居住地とは異なる国や地域へ出かける「メディカルツーリズム」。その需要が高まる中、湘南藤沢徳洲会病院で提供されている先進かつ質の高い医療が海外からも熱い注目を集めており、仲介会社を通してだけでなく、同院の英語版WEBサイトからの直接の問い合わせも増えている。

それを受けて同院では、治療やセカンドオピニオンを求め来日する患者の支援を実施。来日中のアテンドはもちろん、煩雑になりがちな海外の保険会社とのやりとりなどもサポートしているという。



患者の安全と医療の質の向上をめざし、国際的にも高い評価を受ける同院

外国人患者のサポート

在日外国人はもちろん、2020年に向けて増加の一途をたどる外国人患者へ、他言語対応も可能

国際医療支援室に英語とドイツ語に対応できる医療コーディネーターが勤務しているほか、同院では10ヶ国語対応の電話による医療通訳サービス、5ヶ国語対応のタブレット端末でのテレビ電話同時通訳サービスも提供されている。カタコトの日本語で受診している患者も、電話やビデオ越しに母国語に触れると表情が和らぐそうだ。誤診を防ぐ意味でも、病気の不安を和らげる意味でも、こうした支援は不可欠だ。さらに、多言語対応を普及させる院内活動も継続している。



国際医療支援室 中津川 恵 看護師
国内で看護師免許を取得後渡米。米国の正看護師免許を取得し、LAの総合病院産科に約9年勤務後、同院同室へ。

診療案内

- 内科
- 呼吸器内科
- 循環器内科
- 神経内科
- 消化器内科
- 肝胆膵・消化器病部門
- 腎臓内科・人工透析内科
- 内分泌・糖尿病内科
- リウマチ科
- 外科
- 肛門外科
- 乳腺外科
- 消化器外科
- 呼吸器外科
- 脳神経外科
- 脳血管外科
- 脳卒中部門
- 心臓血管外科
- 整形外科
- 脊椎部・脊柱側弯症部門
- 形成外科
- 美容外科
- 小児科
- 小児科
- 産科
- 婦人科
- 眼科
- 泌尿器科
- 放射線科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 麻酔科
- 病理診断科
- リハビリテーション科
- 救急科
- 人間ドック・健診部門

病床数：419

※麻酔科 標榜医 ●●●●●

診療受付時間のご案内

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—	—
17:00~18:30	●	●	●	●	●	—	—	—

※診療科によって時間が異なります。詳しくはお問い合わせください。

外来のご案内

紹介状をお持ちでない初診の方には選定療養費2000円を負担していただきます(対象外の場合もあります。)当院は初診・再診に関わらず毎回保険証の確認を行っています。保険証をお持ちで無い場合は自費負担でお支払いいただくことになる場合がありますので必ずお持ち下さい。

※なお、自費負担後、後日保険証をお持ちいただければ差額は返金いたします。

お問い合わせ

TEL:0466-35-1177(代表)



医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院

TEL:0466-35-1177(代表)

所在地:藤沢市辻堂神台1-5-1

駐車場:有(有料)

休診日:日/祝 ※救急科は年中無休

M A P: P000 0-0

L I N K: P000

さらに詳しく



脳血管外科

脳血管障害の外科治療に特化し新設

湘南東部エリアの脳卒中患者を24時間365日体制で迎え、関連診療科との協働により迅速に、的確に対応。

湘

南東部地域の脳卒中急性期診療で中心的な役割を果たすが、平成28年1月に新設された脳血管外科と脳卒中部門。開頭血腫除去術やクリッピング術などの直達手術、経皮的脳動脈瘤コイル塞栓術や頸動脈ステント留置術などの脳血管内治療に加え、低侵襲治療として内視鏡手術も手がけている。「7~8割の患者が緊急搬送で来院し、即手術が必要なケースも。立ち上げ前の当地区は脳卒中中の外科治療が手薄な印象もありましたので、果たす役割は大きいと考えます」と、溝上部長兼部門長。「当科では脳神経外科だけでなく総合内科とも連携し、毎週カンファレンスを持って多角的に患者さんを診ています。外科だけでなく内科的視点からも診療にあたれるのが強みです」



脳血管外科部長・脳卒中部門長
溝上 康治先生
1999年佐賀医科大学卒業後、九州大学脳神経外科などを経て茅ヶ崎徳洲会病院に。2016年より同院にて脳血管外科及び脳卒中センターの立ち上げに従事。初代部長・部門長を務める。

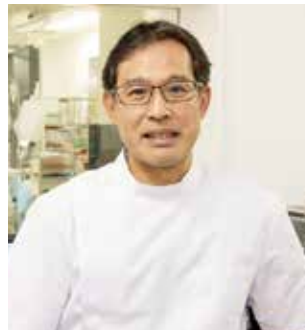
循環器内科

世界標準での最先端へ知識と技術を高める

目覚ましく進化する循環器分野で先進の低侵襲性治療を提供。治療後のQOL向上を見据えた寝たきりを防ぐ治療に定評。

心

筋梗塞、狭心症などの虚血性心疾患、不整脈、心不全などの治療を行う循環器内科では、PCI(経皮的冠動脈形成術)を含む心臓カテーテル治療を年間500件以上行っている。「低侵襲性治療が主流となる中、国内はもちろん、世界標準の先端治療を提供できるよう、知識と技術を磨いています。海外からも多くの医師の見学を受けているのです」と、田中部長は語る。目覚ましく進化した治療によって病状が安定した患者は内科、あるいは地域のかかりつけ医に戻るのが同科の方針だ。「循環器疾患を引き起こす動脈硬化は、食事と運動の管理によって予防するのが一番。定期的に健康診断を受けつつ、数値目標などは堅苦しく考えすぎず、自分なりの健康管理を心がけていただきたいです」



循環器内科部長
田中 慎司先生
1990年愛媛大学卒業。湘南鎌倉総合病院に長く勤務した後、同院同科へ。カテーテルインターベンションのスペシャリストとしてその普及を目指すNPO法人「TRI国際ネットワーク」の運営にも関わっている。

心臓血管外科

2病院のグループ力で質の高い外科手術を

湘南心臓血管外科グループとして2拠点で質の高い外科手術を提供。湘南地区の心疾患患者への緊急対応を一手に引き受けている。

心

臓血管外科は湘南鎌倉総合病院と連携し、湘南心臓血管外科グループとして虚血性心疾患、弁膜症、大動脈疾患などへの外科手術を包括的に手がけている。従来の手術に耐えられない高齢者の手術も可能にする経カテーテルの大動脈弁留置術(TAVI)や、低侵襲心臓手術(MICS)など、ハイレベルな先新治療も提供。またチーム化により、同レベルの手術を2拠点で展開できる。「大動脈疾患は急を要することも多いもの。拠点が2つあれば、緊急患者を断らずに受け入れられます。現場ではスタッフ連携が結果を左右することも多く、気心の知れたチームで活動できるのも強みです」と、片山部長。ドクター同士の連携はもちろん、スタッフも2拠点で勉強会を開くなどして質を維持しているという。



心臓血管外科部長
片山 郁雄先生
1995年徳島大学卒業。湘南鎌倉総合病院、千葉西病院などを経て、同院同科へ。現在は湘南鎌倉総合病院の心臓血管外科医師らと連携し「湘南心臓血管外科グループ」を率いて、後進の指導にも力を注いでいる。